

平成31年度 年間授業計画

1 学年・科目・単位数

第2学年 建築構造設計 2単位

2 担当教員

3 教科・科目のねらい

安全で合理的な建築物をつくるのに必要な基礎的な知識と技術を習得させる。

許容応力度等計算に関する知識と技術を習得させ、資格試験にも対応できる知識と能力を身につけさせる。

4 年間授業計画

学期	単元（授業内容／時間）	重点項目	評価の観点
1	第2章 静定構造物の部材に生じる力 (12時間)	静定梁（片持ち梁・単純梁）の解き方を理解させ、軸方向力図・せん断力図および曲げモーメント図の求め方および表し方を習得させる。	部材に生じる力の種類を理解し、それぞれの力を求めて図で表す知識を身につけている。 荷重・せん断力・曲げモーメントの関係を理解している。
	第2章 静定構造物の部材に生じる力 (12時間)	静定ラーメンの解き方を理解させ、軸方向力図・せん断力図および曲げモーメント図の求め方および表し方を習得させる。	同上
2	第2章 静定構造物の部材に生じる力 (14時間)	静定トラス構造の考え方と特性を理解させる。図式・算式解法について理解させ、各部材の応力を求めさせる。	節点法と切断法の特徴を理解し、部材に生じる軸方向力が求められる。
	第3章 第3章 部材の性質と応力度 (14時間)	構造材料の力学的性質を理解させる。 構造物の断面の性質を理解させる。	応力度とひずみ度の関係を理解している。 部材の強さ・安全性を判定する際に必要な断面の性質の値を求められる。
3	第3章 部材の性質と応力度 (18時間)	曲げモーメント・引張力・圧縮力が生じる構造部材の応力度が求めさせる。	部材の強さ・安全性を判定する知識を身につけている。

5 使用教科書・副教材他

建築構造設計（実教出版）

6 評価方法・観点

試験の点数、ノート点、課題点、授業態度、出欠等を総合して評価する。

※なお、上記は予定であり、行事等により一部変更になることがある。